

# 協力者募集のお知らせ

## ＜令和2年度 岡山市訪問介護インセンティブ事業＞

### ○事業の趣旨

介護保険制度においては、平成30年度から通所介護にADL維持等加算が新設されるなど、お世話中心のサービスから、高齢者本人の能力を活かし、自立を支援する制度が求められています。

岡山市では、令和元年度より「訪問介護インセンティブ事業」として、訪問介護サービスの中で、リハビリ専門職の方の知見を活用し、高齢者の方の自立支援に繋げていきたいと考えております。

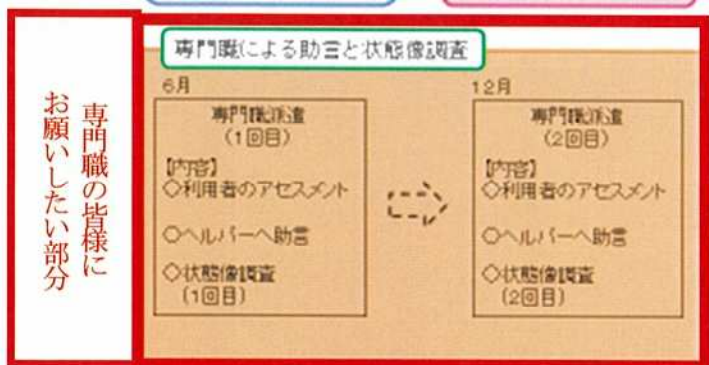
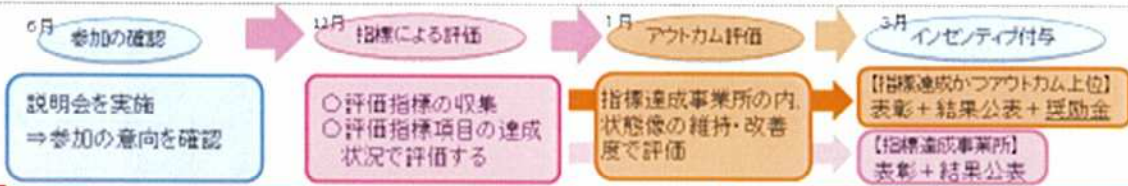
大変お忙しいところ恐縮ですが、専門的知見をお持ちの皆様は、是非ご協力いただきたいと考えております。

### 訪問介護インセンティブ事業 スキーム(案)

#### 【事業スキーム(案)】

＜リハ職の派遣＞  
参加事業所を確認し、リハ職を派遣する。リハ職は事前に訪問介護事業所から電話にて利用者の情報提供を受けた上で、6月頃にヘルパーと利用者同行訪問し、アセスメントしてヘルパーに助言する。12月頃に再度同行訪問し、今後に向けた助言を行う。

＜事業所の評価＞  
リハ職派遣の際、リハ職が利用者の状態像をBarthel Indexで調査し、状態像の維持改善度合い(点数の変化)を確認する。評価指標の評価項目を達成した事業所のうち、状態像の改善に効果が見られた事業所に奨励金を拠出する。



項目	点数	説明
1. 歩行	10	歩行、歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
2. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
3. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
4. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
5. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
6. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
7. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
8. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
9. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
10. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
11. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
12. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
13. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
14. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
15. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
16. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
17. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
18. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
19. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。
20. 歩行補助具	5	歩行補助具なしで歩行可能。歩行補助具なしで歩行可能。

### ○お願いしたい内容

- ①説明会への参加 (4月～5月頃)  
市役所にて、事業内容の説明会をいたします。もしご参加できない場合は、別途個別に対応します。
- ②訪問介護事業所との事前調整  
訪問する利用者に関する情報や、訪問方法等を事前に電話等にてご調整ください。
- ③同行訪問 (6月～8月の間で1回)  
ヘルパーの方と一緒に利用者宅を訪問し、専門職としての視点から、利用者のアセスメント・Barthel Indexの採点・ヘルパーの方へ今後のサービス提供に関する助言をお願いします。
- ④調査票の提出  
採点した調査票を郵送にて岡山市に提出してください。
- ⑤2回目の訪問 (11月～1月の間で1回)  
③⇒④をもう一度行って下さい。謝礼は、年度の終わりにまとめてお支払いいたします。

### ○評価対象者及び参加事業所

#### 【評価対象者】

- ・要支援1～要介護3の人
- ・1週間のうち1回以上、60分以上のサービスが位置付けられている人
- ・事業への同意がもらえる人

#### 【参加事業所】

参加事業所は、手上げ方式で募集します。(30事業所を募集予定です)